

鶴田町の無火災願う

鶴田町消防団（下山正彦団長）は1月5日（火）、鶴田八幡宮で無火災祈願祭を執り行い、管内の火災ゼロを祈りました。

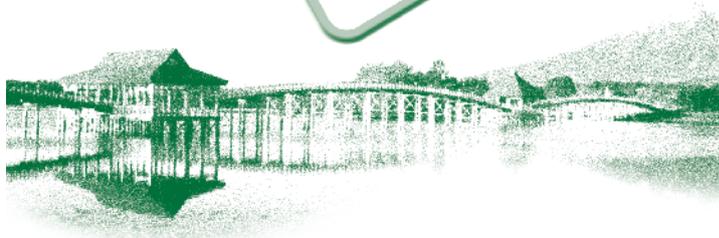
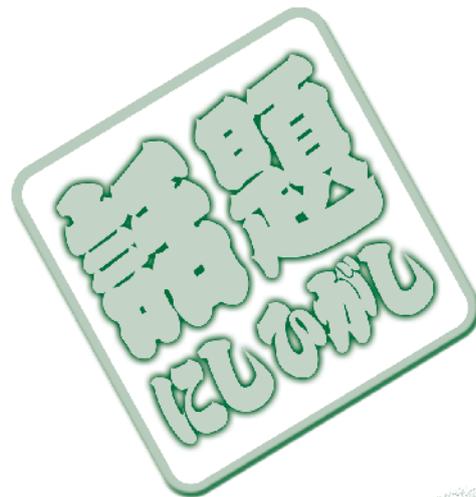
鶴田消防署によると、鶴田管内での2020年の火災出動件数は1件、人的被害はなかったそうです。

祈願には下山団長や相川町長など関係者8人が参列。宮司の神事後、出席者が神前に玉串をささげて、今年1年が無火災・無災害になるよう祈願しました。

下山団長は「鶴田町の無火災・無災害を祈りました。団員の安全を確保し、有事の際には被害を最小限にできるように訓練に励んでいきます」と話していました。



△今年1年の無火災・無災害を祈願



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

交通死亡事故ゼロ8,000日を達成

五所川原地区交通安全協会梅沢支部（花田正俊支部長）は3年1月18日（月）に交通死亡事故ゼロ8,000日を達成しました。梅沢地区では平成11年2月22日以来、交通死亡事故が発生していません。

花田支部長は「これからも地域のために尽力し、10,000日を目指していきます」と意気込みを語っていました。



△相川町長に交通死亡事故ゼロ8,000日達成の報告をしました

自主防災クラブがマスクを配付

12月23日（水）、鶴泊自主防災クラブ（森明彦代表）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため不織布マスクを配付しました。

外出時の感染防止に使ってもらいたいと鶴泊町内会（三浦清勝会長）協力のもと、鶴泊地区の全戸に不織布マスク7枚を配付しました。



△三浦町内会長（正面右）にマスクを渡す森代表（正面左）

町産食材たっぷり「鶴田御膳」

町農家有志でつくる「華の会」(瀬戸ひとみ代表)は1月13日、2月10日、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」のイートインコーナーで町内産の食材をふんだんに使用した「鶴田御膳ランチ」を数量限定で販売しました。

昨年1月にも同様のランチを提供。御膳ランチのメニューは会員らが生産したハウレン草やフキといった野菜の和え物、モヤシ入りハンバーグ、みそ汁などで食材の8割以上が町内産。

午前11時の開店と同時に多くの人が来場し、ランチを買い求めていました。来場者からは「おいしい」や「味付けが濃くなくて体によさそう」など好評でした。

瀬戸代表によると、今後も農閑期にランチの提供を行っていくそうです



△町内産食材をふんだんに使った「鶴田御膳ランチ」



△傾聴の在り方について説明する藤林教授

悩みの声に“心”を傾けて

悩みや生きづらさを抱えた人の話を聴く「傾聴」について理解を深める傾聴講座が1月15日(金)に行われました。

傾聴講座は町の自殺対策事業の一環で、2012年度から隔年で実施。今年度は全3回開かれました。初回は、青森大学社会学部の藤林正雄教授が講師を務めました。

藤林教授は「傾聴は相手の話を聴くだけでなく、相手に向き合い続け、時間を共有することが大切です」と話していました。

講座では参加者が相談役と聴き役に分かれて傾聴を体験。対応の仕方などで話の流れや展開に違いが出ることを学んでいました。



移住して最も雪の多い冬を体感している山田です。スチューベンの出荷作業が先月で無事に終わりました！昨年の春から1年間栽培を行い、収穫・出荷とトラブルなく終わることができホッとしています。

早いもので鶴田町に来て3年目…僕の地域おこし協力隊としての任期は今年の6月までです。その後、新規就農をして生産者となる予定なので、個人的に今年は【節目の年・挑戦の年】になりそうです！今年もよろしくお願ひします！



△山田さんが生産した「つるたスチューベン」

山田さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。